

「茶室の冒険：安来とパリ」

せんだい しょういちろう
講師 **千代 章 一郎 氏**

島根大学教授

放送大学島根学習センター客員教授

(専門分野：建築論)



中国から渡ってきた茶の文化は、日本において茶室建築を生み出しました。インドでも、英国でも、茶室建築に相当するものではありません。茶室は移設することができます。同じ複製をつくることもできます。建築家は茶匠。そんな建築は世界中に日本にしかありません。近世に誕生したこの新しい建築は、宗教的な意味を帯びた茶の湯を芸術の空間に変えました。

その冒険的な精神は、江戸大名に受け継がれ、今日まで続いています。同じ形式、同じ儀礼の繰り返しだけではありません。いろいろな工夫があり、自在に茶室を建設しました。

安来には清水寺の巖松軒や古門堂を建てた禅僧恵教和尚がいました。パリにはシャルロット・ペリアンがいました。ともに冒険的精神を持って茶室を建てました。

12 月 **6** 日
(土)

時間：14:00-15:30

場所：和鋼博物館映像ホール

定員：80 名

(事前申込制：締切 11/29)

**入場
無料**

主催：放送大学島根学習センター

共催：安来市立図書館

●○● どなたでも参加できます。●○●

申し込み：安来市立図書館

☎ 0854-22-2574

：放送大学島根学習センター

☎ 0852-28-5500

* 申込により取得した個人情報については、本件の連絡にのみ使用。